

本調査研究では、これまで述べてきたように、教科指導における小・中・高連携の在り方について、指導内容と育てたい力の系統性を踏まえた学習指導の工夫を通して、基礎・基本の確実な定着を図ることに焦点を当てた検証を行ってきた。

具体的には、5教科において指導内容系統表を作成し、小・中・高における指導内容や育てたい力とそれらの系統性を明確にすることができた。また、系統性を踏まえた学習指導の工夫の一つとして指導内容の確実な定着と活用を図る学習指導の工夫を行うことで、基礎・基本の定着に一定の成果を上げることができたと考える。このことは、社会においてよりよく生きる力の育成にもつながっていくはずである。一方で、育てたい力を一層はぐくんでいくために、指導内容の活用を図る学習指導の工夫について継続して取り組むとともに、その基盤となる言語活動の充実についての研究を進めていく必要があると考えている。

また、中教審の「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」（平成19年11月）にもあるように、発達の段階に応じた学校段階間の円滑な接続を図っていくためには、系統性を踏まえた学習指導の工夫改善がますます重要となってくると考える。

今後、本研究が、各学校における系統性を踏まえた学習指導の工夫改善に取り組む際の参考になれば幸いである。

最後に、本研究を進めるに当たり、アンケートに御協力いただいた各市町村教育委員会や各学校、実践事例を提供していただいた研究協力員の先生方に心からお礼を申し上げたい。

【引用・参考文献】

- ・ 文 部 省 『小学校学習指導要領解説－各教科編－』 (平成10年12月)
- ・ 文 部 省 『中学校学習指導要領解説－各教科編－』 (平成10年12月)
- ・ 文 部 省 『高等学校学習指導要領解説－各教科編－』 (平成11年12月)
- ・ 中央教育審議会 『新しい時代の義務教育を創造する（答申）』 (平成17年10月)
- ・ 中央教育審議会 『教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ』 (平成19年11月)
- ・ 文 部 科 学 省 『小学校学習指導要領解説－各教科編－』 (平成20年 8 月)
- ・ 文 部 科 学 省 『中学校学習指導要領解説－各教科編－』 (平成20年 9 月)